

男性の育児・家事参画による女性活躍推進事業【明石市】

個別事業費	626 千円
交付金額	313 千円

地域の実情と課題

- ・本市では、市内に本社機能を置く9割以上の企業が中小企業であり、これまで規模的にも企業単体で女性活躍の取組を行うことが困難な状況にあった。
- ・上記状況を踏まえ、まずは、事業者及び各種団体のネットワーク構築を図るとともに、女性活躍の啓発につながるイベントを開催するなど、事業者や市民の意識啓発を図った。
- ・また、市内の動きとして、平成28年度に女性自身の声を施策につなげることを目的に「あかし女性の活躍推進会議」を設置。令和3年度には、市内横断的に「ジェンダー平等プロジェクトチーム」を設置し、同チームの取組や地域のニーズ、社会情勢等を踏まえた施策を展開している。

事業の特徴

- ・民間企業や団体との連携により、そのノウハウを活かし、より効果の高まる内容の取組を実施。
- ① **男性の家事育児参画促進イベント**
父親の家庭生活を支援する団体や民間施設との連携により、男性の育児参画促進イベントを実施。
- ② **パートナー間での家事育児協力推進セミナー**
日用品メーカーとの共催により、家事育児におけるパートナー間での協力意識を高めるためのセミナーを実施。

事業の効果

- ・イベントに参加した男性に、おおむね積極的な家事・育児参画に関する意識を持っていただけた。
- ・本事業を契機に、積極的な家事・育児参画に係る意識が芽生えた。
【参加男性の割合】87%、【イベント男性参加者数】97名

目的・目標

- ・女性の職業生活における活躍を妨げる要因として、女性にかかる家事育児の過度な負担があげられる。そこで、男性が積極的に家事育児に参画するように働きかけることで、女性の過度な負担を解消し、「お互いが協力しながら家事をするのがあたりまえ」という考え方をまち全体に浸透させ、女性の職業生活における活躍推進や夫婦間での役割分担を見直す機会とする。

【目標値】本事業を契機に、積極的な家事育児参画に係る意識が芽生えた参加男性の割合 : 80%
イベント男性参加者数 : 300名

連携団体

- ・ライオン株式会社
- ・NPO法人ファザーリング・ジャパン関西
- ・一般財団法人明石コミュニティ創造協会

今後の課題

- ・イベントには多くの男性の参加があったが、アンケート結果からもういまだに女性にかかる家事育児の負担が大きいことが伺える。
- ・イベントを契機に、家事育児への参画意識が芽生えた参加男性の割合は87%に上がったが、男性参加者数は目標を下回っている。
- ・本事業を継続することで、「性別にかかわらず、お互いが協力しながら家事育児をするのがあたりまえ」という意識を地域に広め、女性にかかる家庭生活での負担解消、女性の社会活躍に繋げていきたい。

事業の概要

●男性の家事育児参画促進イベント

開催報告



パパ応援DAY

親子で楽しめるイベントを開催

2024
6/15 土
10:00~16:00

場所：ウィズあかし（アスパア明石北館8階）

子育て中の男性の家事育児参画意識向上を図ることを目的としたイベントで、父の日の前日に開催しました。広報あかしやスマートスクールアプリで周知し、午前・午後の部合わせて、昨年比約1.4倍の83家族（238人）が参加しました。

パパクエスト～遊びの冒険に出かけよう～

ポルダリング

子どもたちが家族と一緒に8つのブースを体験し、「ぼうけんのしょ」にスタンプを集めました。アンケートでは、ダンボール迷路、マジック体験の人气が高く「非日常を楽しめた」という声も。体あそびも「遊びのバリエーションが増えた」「家でやりたい」という人気ぶり。「子どもが楽しっていて、親として嬉しかった」という声が多数届く、参加者もスタッフもみんなが笑顔で楽しめるイベントになりました。



ダンボール迷路

小ブロック

大ブロック

体・絵本あそび

料理教室 ～オムライスとポトフ～



倍率約7倍の抽選で選ばれた家族による料理教室では、オムライスとポトフの調理・試食・片付けをすべて自分たちで行いました。参加者からは「料理へのハードルが下がった」「子どもが初めて肉を食べてくれた」といった嬉しいお声をいただきました。



パパ応援DAY



どんぐりウインター

[担当] 明石市インクルーシブ推進課
TEL：078-918-6037 FAX：078-918-5617 E-mail：inclusive@city.akashi.lg.jp

●パートナー間での家事育児協力推進セミナー



第5回

一生役立つ家事のコツ

開催報告

みんなで家事シェア



日時
2024年
9月29日（日）10:00～12:00
場所
パピオスあかし5階
多目的ルーム・工作ルーム

洗濯やほめ方のプロが、効率的な洗濯の方法や家事分担について伝授する「みんなで家事シェア」。家事をシェアするヒントを学びに、16組（大人27名、子ども26名）の家族が参加してくれました。



<申込者数：64組（大人98名、子ども113名）>

家事ギャップ解消セミナー・ほめ方セミナー <大人>

まず、参加者の「家事シェアタイプ」を診断し、夫婦でもタイプはさまざまという認識の共有からスタート。タイプの違う夫婦が家事を協力するためには、**コミュニケーション**と互いに**褒め合う**ことがポイントです。子どもをやる気にさせるためには、任せることが大切との話も。参加者は熱心に耳を傾けていました。



講師：NPO法人ファザーリング・ジャパン 會員 杉山 健士さん



オリジナルMy歯ブラシをつくろう・手作りハロウィーン 仮装グッズをつくろう <子ども>

歯ブラシにキラキラシールを貼って、自分専用の歯ブラシをつくりました。オレンジ色のビニールを使用した「かぼちゃの衣装づくり」では、はさみや画用紙を使って、みんな一生懸命。個性あふれるオリジナル衣装が完成しました。



どか陰しつかかな？



つくったかぼちゃの衣装を着て、はいポーズ！



「パパ、どうぞ！」洗濯物を手渡す



講師：ライオン株式会社 お洗濯マイスター 大貝 和泉さん

洗濯物干しゲーム <大人・子ども>

最後は大人と子どもが合流し、「洗濯物の干し方」をゲーム形式で学びました。4チームに分かれて、干し方とスピードで勝負！チームの代表のパパが洗濯物を干していきます。ゲーム後には講師から、洗濯物を干すコツや裏ワザを教えてもらい、参加者からは感嘆の声！「今後のやり方を見直します」「すぐ実践します」といったお声もいただきました。



真剣に干すパパ